

自治体概要



人口	3 9 4 , 0 1 3
世帯	1 8 5 , 9 1 2

(令和6年2月1日現在)

一般病院	2 1
精神科病院	2
一般診療所	2 8 8
歯科診療所	2 0 9

(厚生労働省「医療施設調査（令和 3 年）」より)

平成28年3月	枚方市歯科口腔保健計画 策定
平成28年4月	枚方市口腔保健支援センターを設置
令和 6年3月	第2次枚方市歯科口腔保健計画 策定予定

これまでの取組と課題

枚方市歯科口腔保健計画における基本目標 実現のための取組の方向性・重点的対策

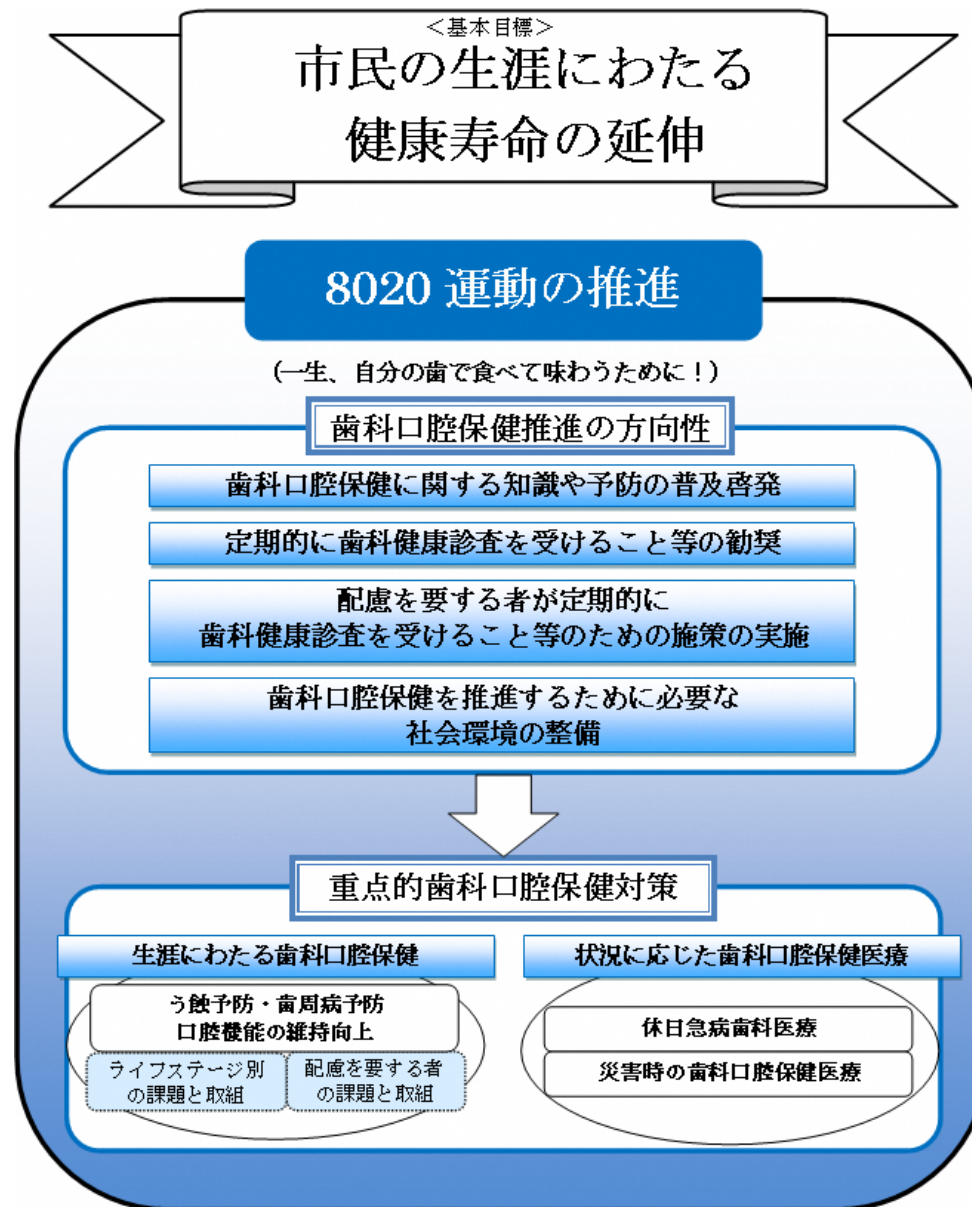
すべての市民が安心していきいきと暮らすことができるまちの実現を目指し、平成26年3月に「第2次枚方市健康増進計画」を策定し、さらに歯と口腔の健康づくりを通じて生涯自分の歯で食べて味わい、元気でいきいきとした人生を送ることができるよう、平成28年3月に「枚方市歯科口腔保健計画」を策定し、以下の取組を実施している

歯科口腔保健の方向性

- ・歯科口腔保健に関する知識や予防の普及啓発
- ・定期的に歯科健康診査を受けること等の勧奨
- ・配慮を要する物が定期的に歯科健康診査を受けること等のための施策の実施
- ・歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

重点的歯科口腔保健対策

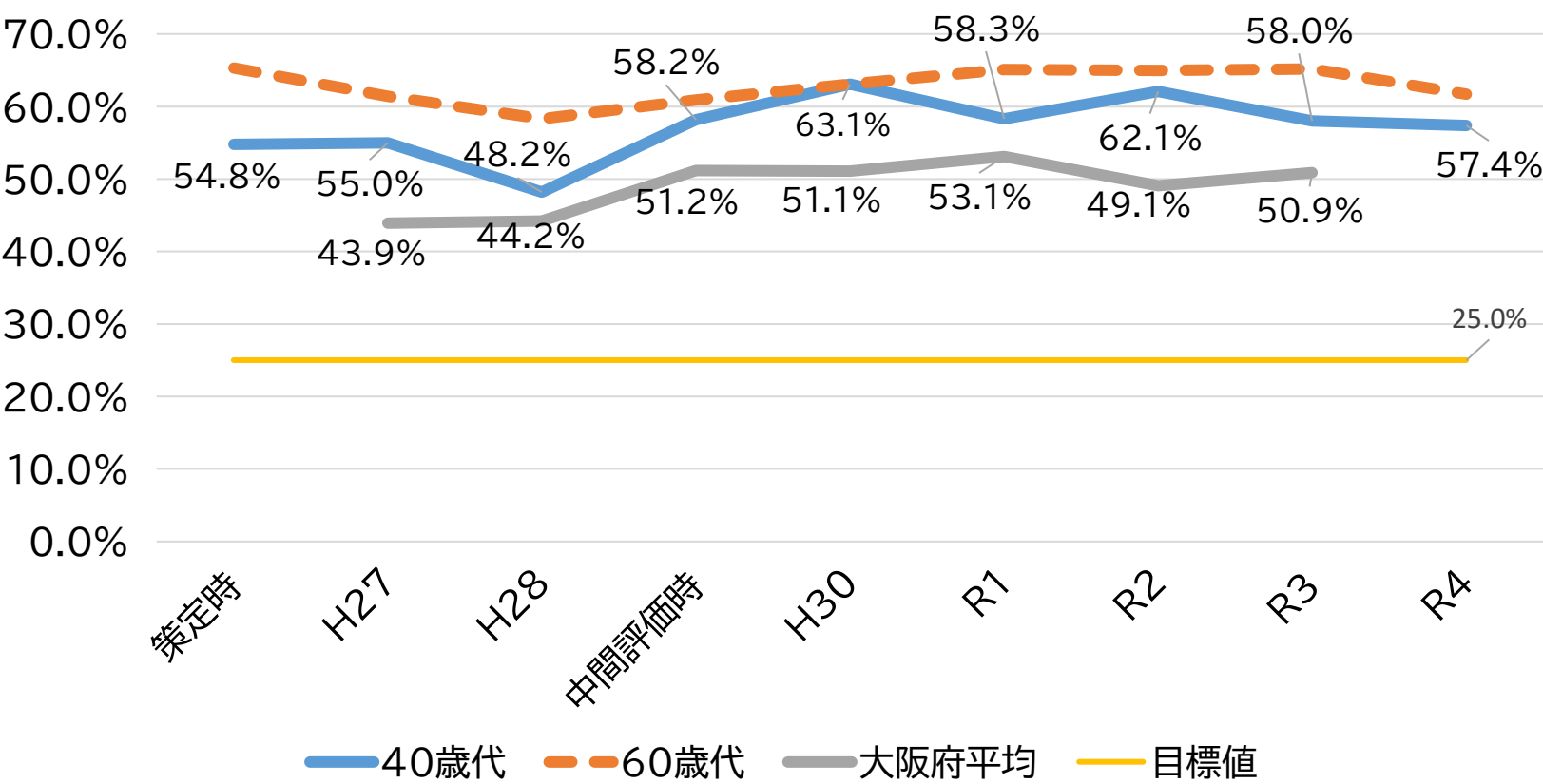
- ・生涯にわたる歯科口腔保健
- ・状況に応じた歯科口腔保健医療



出典：枚方市歯科口腔保健計画

これまでの取組と課題

40歳代・60歳代における進行した歯周炎を有する者の状況



枚方市における課題

壮年期の歯周炎を有する人の割合が高い

モデル事業実施の流れ（簡易検査）

実施概要:健康診断会場にて歯周病リスクチェックの実施

対象者:日曜健診の受診者

対象人数:170名

実施日程： 2023年10月15日、11月5日

リスク検査実施者数:110名（男性41名、女性58名、不明1名）

実施率:64.7%

モデル事業実施の流れ（簡易検査）



モデル事業実施の流れ（簡易検査）

歯周病リスク検査案内チラシ（健診案内送付時に同封）

表

10/15・11/5限定！

歯周病リスク検査

(3,000円相当)が **無料**

日曜日健診“前”に

迅速・簡単チェック！

※検体採取
舌拭い用スポンジ
ブラシで舌全体を
拭きます



Q 他人の“におい”で
「嫌だな…」と気になるもの1位は？

こたえは…



その口臭の原因は
歯周病かも？

口臭の約90%は歯垢や歯周病等が原因です

さらに、30代以上の**3人に2人**が**歯周病**

脱マスクの今、あなたのお口は大丈夫？
この機会に**チェック**してみませんか？

裏

全体の流れ

- 1 お申込み**
検査をご希望の方は同封の【お口の健康チェックシート】に
必要事項を記入・ご持参ください。
- 2 健診受診日に歯周病リスク検査の実施**
【お口の健康チェックシート】を受付で提出してください。
結果は健診の結果と一緒にご自宅へ郵送します。
- 3 参加後アンケート**
約1か月後に、ご参加後の3分アンケートを郵送または
メールでお送りします。ご回答をお願いします。

歯周病と 関係のある様々な病気

- 糖尿病 ●肥満 ●脳梗塞
- 認知症 ●心臓病
- 膜嚥性肺炎
- 骨粗しょう症
- 関節リウマチ
- 低体重児出産
- 早産 など…



30代以上の**4人に1人**が
歯周病の治療の機会を
逃して**後悔**…

後悔しないためには、



歯科医院 に行けば、
全部できます。

まずは、
無料リスク検査を
お試しください。

枚方市は厚生労働省「就労世代の歯科
健康診査等推進事業」に参加しています

▼歯周病リスク検査の事業参加について

厚生労働省「就労世代の
歯科健康診査推進事業」
歯科健康診査推進事務局
(NTTデータ経営研究所)
dental-support@nttdata-strategy.com
03-5213-4091

【月～金 10:00～17:00(祝日を除く)】

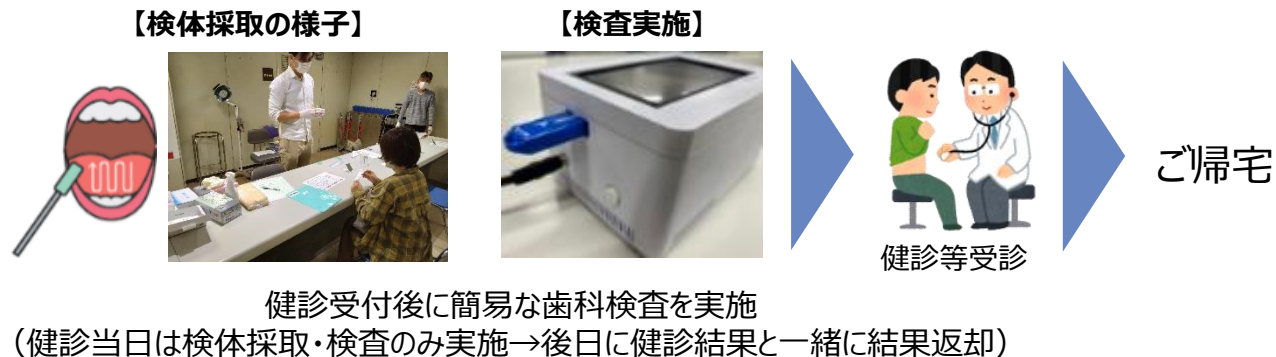
モデル事業実施の流れ（実施当日までの流れ）

簡易な歯科検査を健診に組み込んだ場合の流れ

① 事前案内（ご自宅に日曜健診の案内と一緒に簡易検査のチラシ・問診票を郵送）



② 日曜健診当日（健診前に検体を採取）



③ 結果の返却 (日曜健診の結果 とともに返却)



モデル事業実施にむけた準備

1. 健診実施事業者との調整

- ・健診案内に簡易検査の案内チラシを同封するための協力を要請
- ・健診結果と一緒に簡易検査の結果を同封するための協力を要請
- ・健診受付時に簡易検査の参加確認、不参加の人への声掛け、参加希望者への簡易検査場所への誘導を要請

2. 歯科医師会との調整

- ・事業実施の事前報告と、リスク検査の結果をもって歯科受診する市民がいる可能性を歯科医師会会員への周知依頼

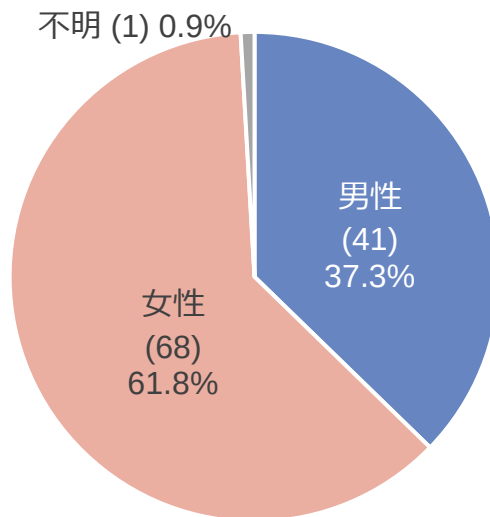
3. 保健センター内での調整

- ・歯科担当者と特定健診担当者で案内チラシのレイアウトの検討
- ・実施日当日の健診時の人の動線の確認
- ・実施日の日程検討（若い世代の参加率が高い日程での実施）

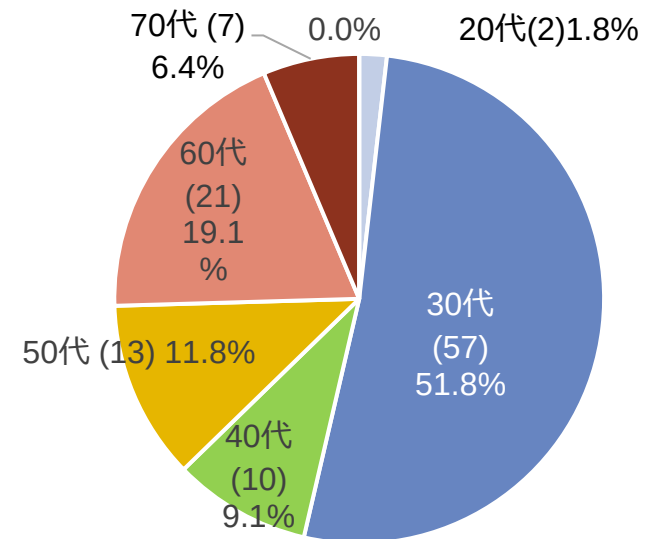
参加者の属性

- 参加者は男性37.3%、女性61.8%、年齢構成は30代が51.8%と最多であった。

..... モデル事業参加者の性別
n=110



..... モデル事業参加者の年齢構成
n= 110



参加者の属性

..... 年代別検査結果内訳

	A リスク低	B リスク中	C リスク高	総計
20代	1	1	0	2
30代	22	21	14	57
40代	2	5	3	10
50代	4	5	4	13
60代	5	9	7	21
70代（※）	1	1	5	7
総計	35	42	33	110

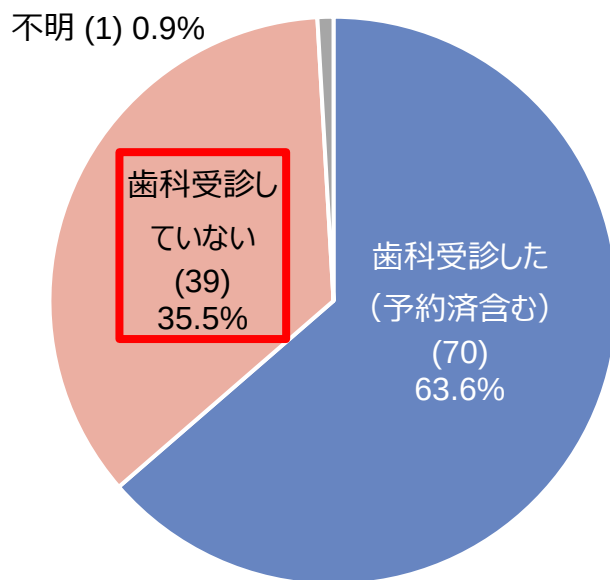
※74歳まで

簡易な歯科検査実施前の参加者の歯科受診状況

- 参加者のうち、過去1年間に歯科受診していない割合が35.5%であった。
- また、過去1年に受診している場合の受診目的は、歯科健診・定期メンテナンスが71.4%と最多であった。

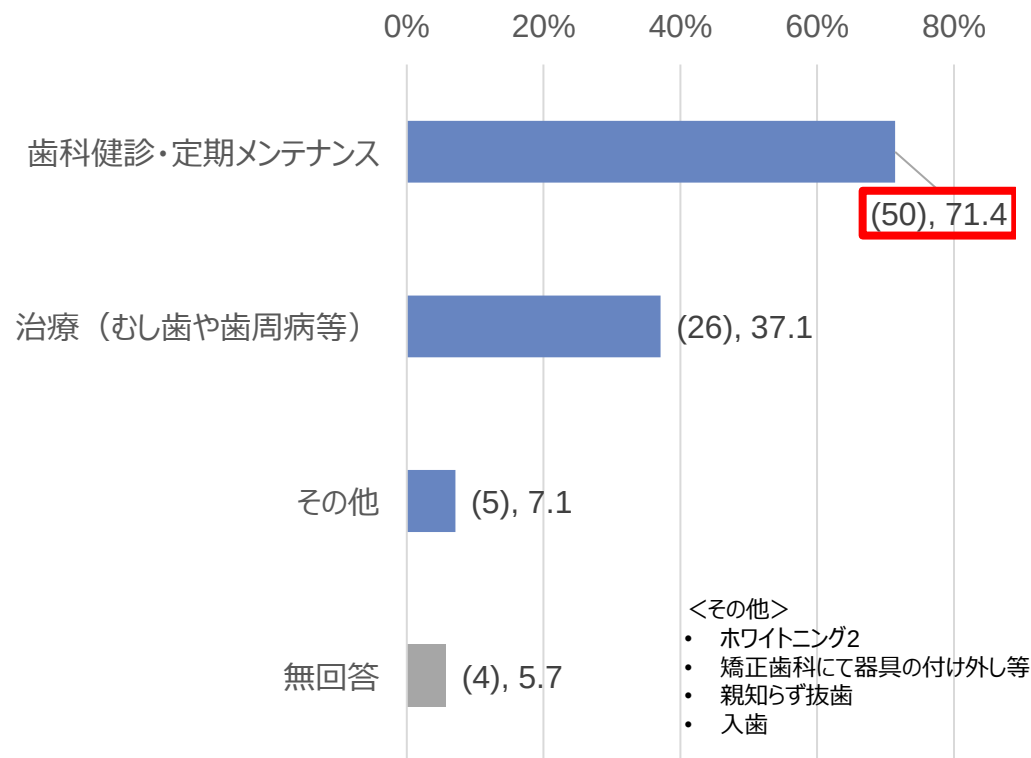
簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診率

n=110



簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診目的

n=70



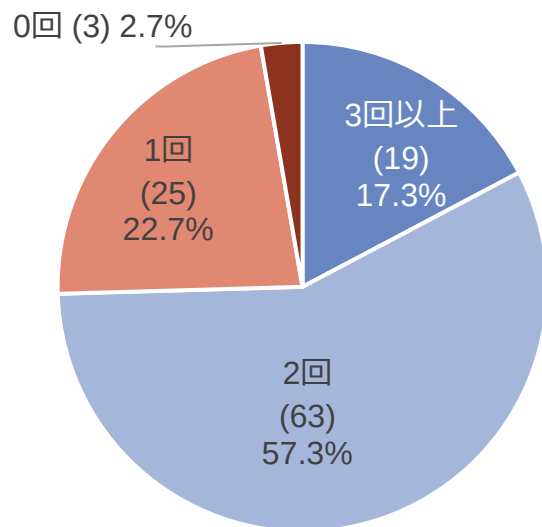
簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

- セルフケアの実施状況（歯磨きの頻度）は、2回以上の実施している割合が実施前74.6%に対して実施後は78.7%と4.1ポイント上昇した。

セルフケア（歯みがきの頻度）

簡易な歯科検査実施前

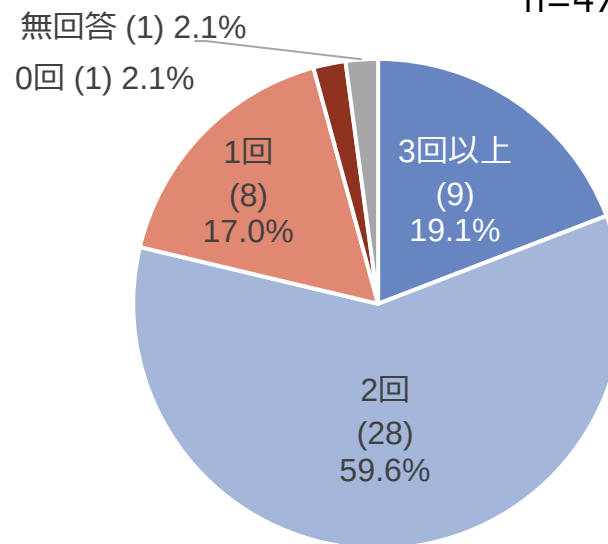
n=110



2回以上の割合74.6%

簡易な歯科検査実施後

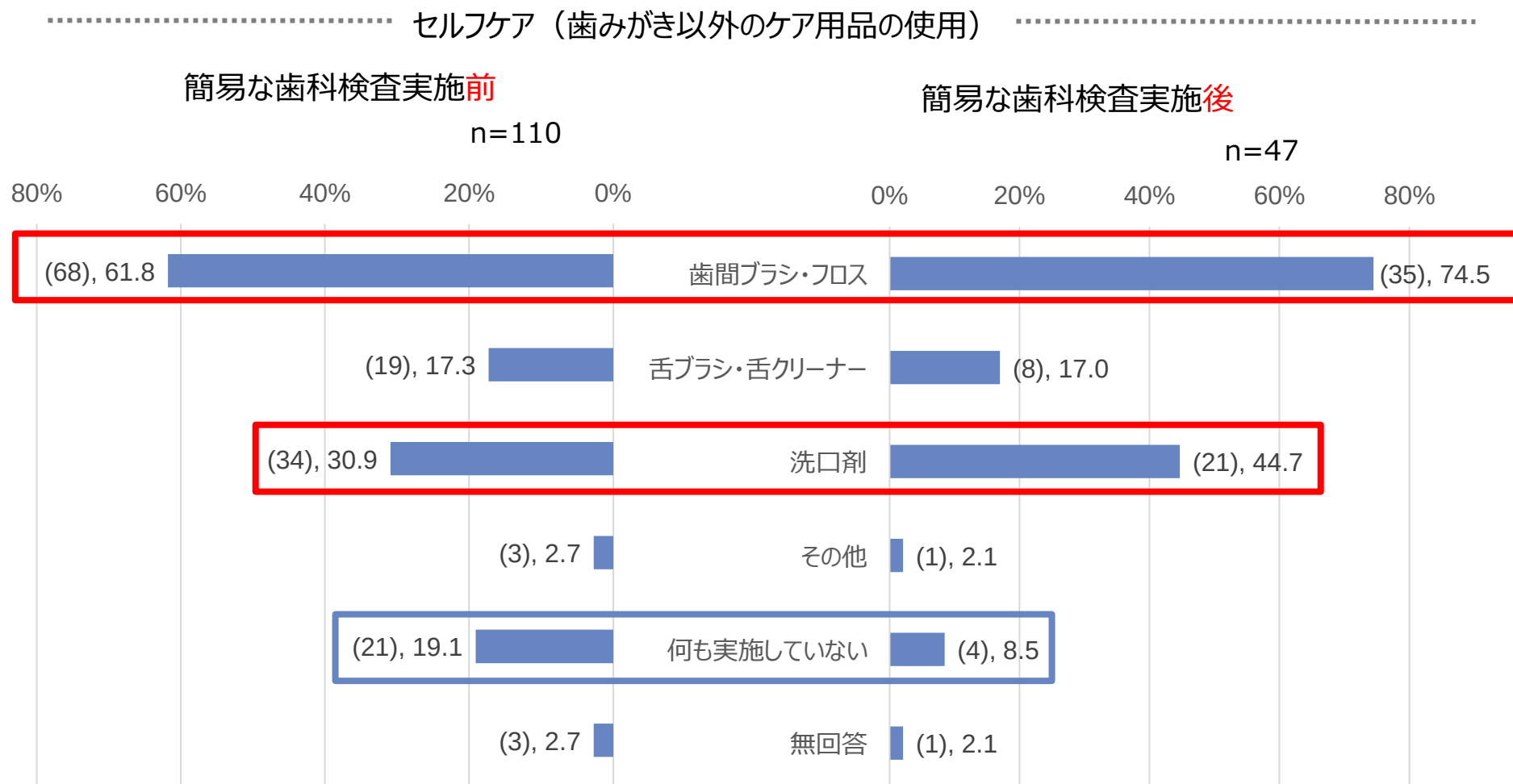
n=47



2回以上の割合78.7%

簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

- セルフケアの実施状況（歯磨き以外のケア用品の使用）は歯間ブラシ・フロスが61.8%から74.5%に上昇（12.7ポイント）、洗口剤が30.9%から44.7%（13.8ポイント）に上昇し、何も実施していない割合は19.1%から8.5%に低下（10.6ポイント）した。



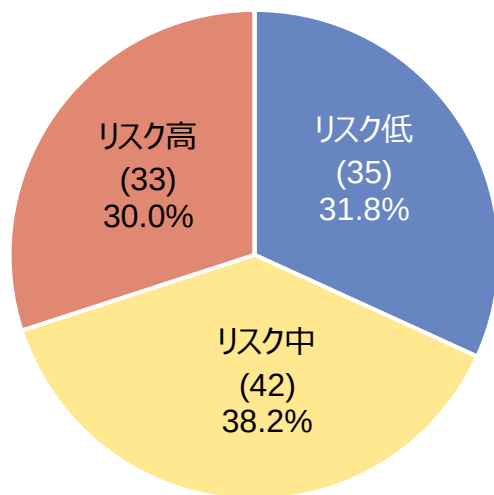
簡易な歯科検査実施後の参加者の歯科受診状況

- リスク高・中の参加者のうち、無回答を除くと80%以上の割合で既に受診しているか、今後受診するつもりである状況であった。

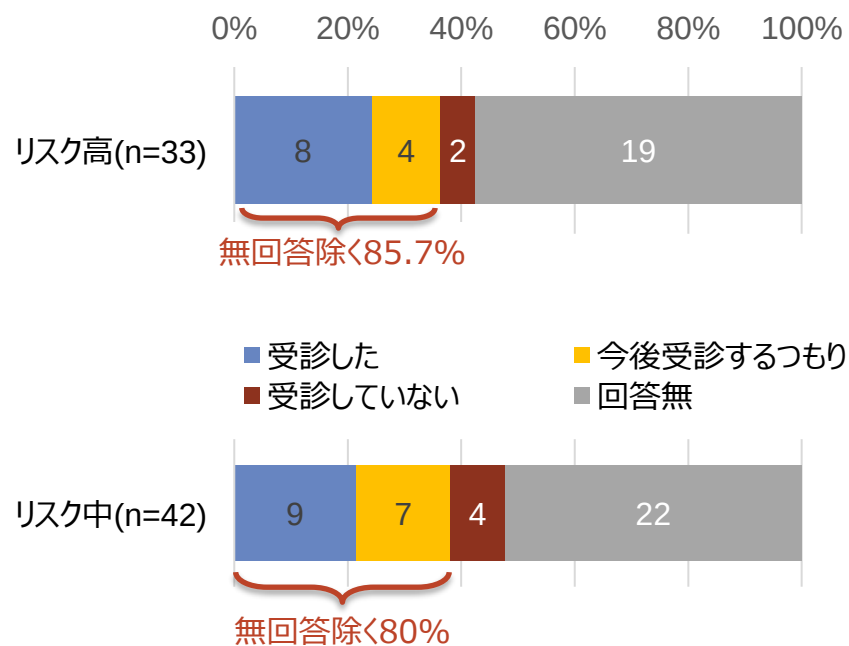
..... 簡易な歯科検査の結果とその後の歯科受診状況

簡易な歯科検査の結果

n=110



簡易な歯科検査の結果別歯科受診状況



- アドチェック：A, B, Cの判定をそれぞれリスク低, 中, 高とした

簡易な歯科検査実施後の参加者のセルフケアの状況

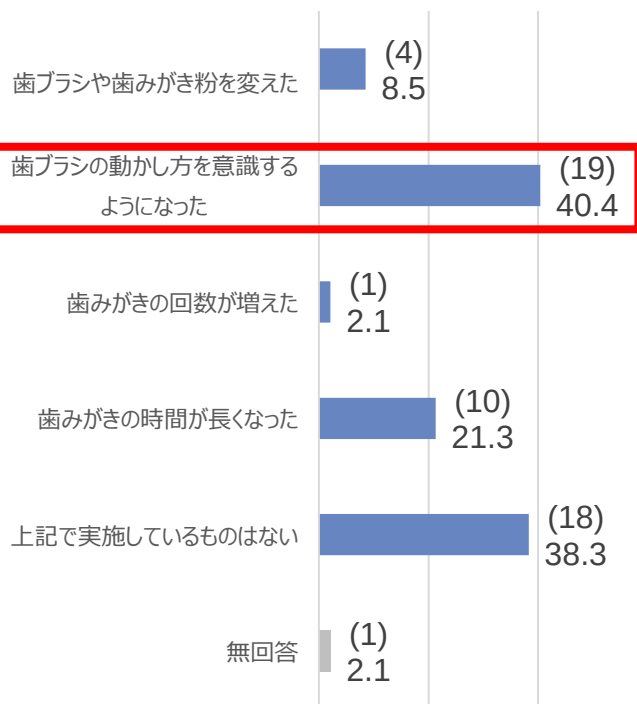
- 簡易検査の実施によるセルフケア・知識・意識の変化として、「歯ブラシの動かし方を意識するようになった」が40.4%、「定期的な歯科医院でのお口の専門的なチェックが必要であること（を新たに知った）」が38.3%、「丁寧な歯磨き（を意識した）」が57.4%等、一定の啓発効果が見られた。

セルフケア・意識・知識の変化

簡易な歯科検査後の 歯みがきでの心がけ

n=47

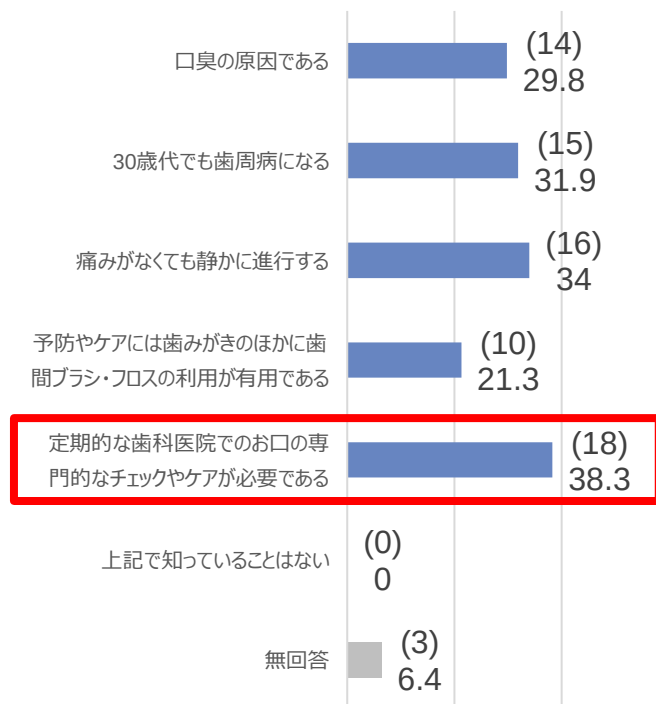
0% 20% 40% 60%



簡易な歯科検査をきっかけに 知ったこと

n=47

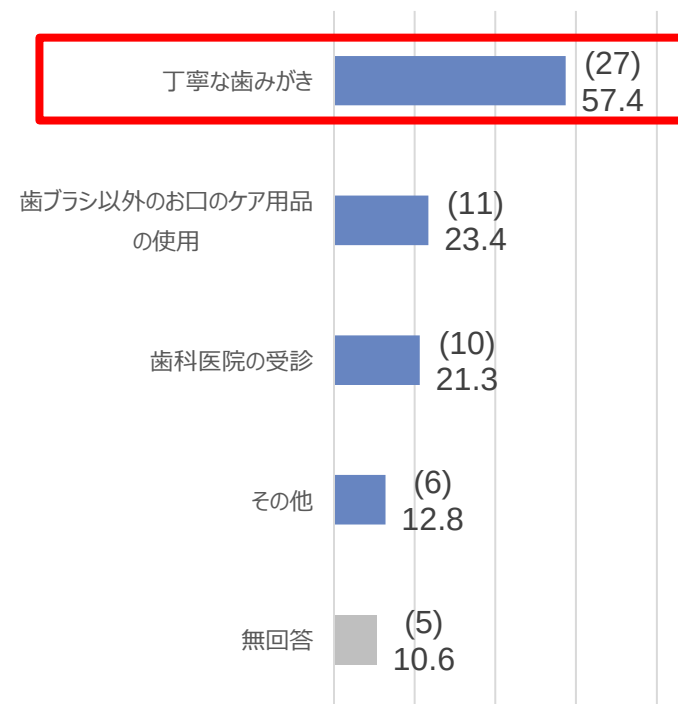
0% 20% 40% 60%



簡易な歯科検査実施後の お口のケアに関する意識

n=47

0% 20% 40% 60% 80%



モデル事業を通しての成果と課題

- 簡易検査の実施により、歯科医院の受診、セルフケア・意識・知識の啓発に一定の効果が見られた。他方、今後の課題としては、費用の確保や、そのための費用対効果のエビデンス検証等が挙げられる。

<主な成果と課題>

1. 健診との同時実施（かつ事前案内）による参加者増

- ・日曜健診の一部に簡易検査を組み込み事前に健診と合わせて案内することにより、任意の参加ではあったが64.7%の健診受診者が簡易検査も受診した。（昨年度は乳幼児健診の当日に案内・健診終了後に検査キットを配布したが40%程度の参加率であったため、参加割合が大きく向上）

2. 歯科医療機関の受診

- ・アンケート回答の集計結果ではあるが、簡易検査のリスクが高・中の参加者のうち、無回答を除くと80%以上の割合で既に受診しているか、今後受診するつもりである状況であり、一定の受診勧奨効果が確認された。
- ・一方、レセプト等で正確な受診効果を把握しているものではないため、正確な効果の検証には至っていない。

3. セルフケア・意識・知識の啓発

- ・「歯ブラシの動かし方を意識するようになった」、「定期的な歯科医院でのお口の専門的なチェックが必要であること（を新たに知った）」、「丁寧な歯磨き（を意識した）」等、簡易検査の実施によりセルフケア・知識・意識の一定の啓発効果が見られた。

4. 費用の確保及び費用対効果のエビデンスの確認 <今後の課題>

- ・簡易検査の費用として自治体が予算確保できる金額には限度があることに加え、簡易検査の実施による直接の歯周病予防効果の確認にまでは至っていないため、費用対効果の明確なエビデンスがなく費用確保のための調整が難しい可能性があることが今後自治体として実施するうえでの課題と考える。